

仙台市 MT 春季大会

宮城野 体育館
平成 29 年 5 月 3 日



アルファチーム 渡辺きみえ主将の温かい選手宣誓に館内は和やかな雰囲気につつまれた。今大会は大型連休の中日でもあり参加チーム数が懸念されたが、多くの愛好者が参加され持てる力を発揮しミニテニス特有の前後左右に変化する技の全てを駆使した攻防に館内から温かい声援が飛び交っており親睦の和が広がった。



1部 決勝
連坊 A 2 — 1 蒲町
2部 決勝
桜 B 2 — 1 やまがた
F・B
写真左 2部 桜対やまがたの決勝戦 1対1でむかえた男 W 戦 桜 山田のスマッシュがベイスライン上に決まりゲームセット。

3部 決勝
遠見塚 B 2 — 1 松陵

遠見塚ミニテニス部を紹介しよう。

『設立 20 周年を迎えての思うこと』

平成 9 年 4 月 仙台市ミニテニス協会発足する僅か 1ヶ月前、ようやく私達の部が産声をあげました。そこで、今年 4月 29日に 20周年設立祝賀会を催し、30数名の仲間が懐かしい思い出話やこれからの夢などを語り合い、和やかな時を過ごしました。皆、ミニテニス愛にあふれ、特に年齢を重ねた人ほどその想いは熱く“もっと早くミニテニスに出会いたかった。”という人達が沢山いました。昨今、高齢化社会が当たり前となり、平均寿命は 84歳と世界一になりました。



写真 3部で優勝した遠見塚チーム、練習は遠見塚小学校体育館、コート 3面は何時もフル稼働、出会いふれあいを大事に「わいわいガヤガヤ」「バシーン バシーン」と体育館が響き 赤 白緑のカラフルなボールが飛び交っている。
(仙台市 渡辺 勝利)

した。医療に頼ることのない豊かな人生を生ききる為、生涯スポーツとして普及されたこの種

目を私達は大切に広めて行きたいと思えます。
上田 敏子部長 記

第6回全国 M・T 親善仙台大会 (団体戦)



より「今年一番の31度の予報、熱中症対策を専一に、プレーを通じて更なる友情の和を・・・」



開会式では、ご来賓を代表し、仙台市体育協会、山口昭一副会長 写真左

「これまでミニテニスを通じて育まれた友情を深めると同時に、フェアプレーに徹した真剣勝負の中で培われる新しい友情の芽を大きく育てていく、そんな大会を目指して準備してきました。」

平成23年3月11日、未曾有の大震災の復興元年を機に開催した第6回全国大会に52チームのエントリーがあった。

ントA部門、KOKOROポパイ、卓越したス



「全ての技を駆使し楽しく交流を・・・」の宣誓に会場は和やかな雰囲気にも包まれた。写真左、決勝トーナメ



とご祝辞があった。続いて48Aチーム 庄子雄大選手 写真左

優勝した秋田同好会 高杉正幸選手は「予選6試合、決勝トーナメント3試合、プレーを通して多くの方々と交流できたことが何より・・・」と流れる汗を拭いながら語ってくれた。



秋田同好会2-1ジミこがーズ A部門 決勝

ピードに加え広い視野から繰り出す多彩な攻防に応援団からは幾度となく歓声上がる。そんな雰囲気にも、コート上では選手たちの汗と笑顔が飛び交っていた。

優勝のYYクラブ小林寿選手は「決勝まで8試合、疲れました。しかし意義ある親善大会でした」と話してくれた。「今大会も、年代を超えて楽しみを分かち合える多くの愛好者が集い、出会い触れ合いを通じて心地よい汗を流すことができ、意義ある大会だったと思います」全国の皆さん極暑の中有り難うございました。 仙台市 渡辺 勝利



B部門 決勝 YYクラブ2-1AK B桜組

仙台市MT夏季大会



仙台市MT協会夏季大会は平成29年8月11日、仙台市若林体育館で行われた。お盆休みでもある中、多くのミニテニス愛好者が参集した。司会進行は今大会から新人理事の担当となった。写真左は新人の佐



藤文枝さん。持ち味の透き通る声で難なくこなした。

選手宣誓で、けやきチームの横田孝子選手写真左は、「日頃の練習



の成果を遺憾なく発揮し、楽しくプレーを...

の宣誓に温かい拍手が飛び交っていた。試合は年間成績による3部制、部ごと2つのブロックに分かれ予選4試合を戦う特別リーグ戦、ブロック1位同士が決勝戦を行う。

写真左は予選7試合目、荒町A―JOY・A



の戦い、ミニテニス特有の技を駆使しての攻防は応援団魅了した。

1部優勝

荒浜A3―0連坊A



2部優勝

国見ヶ丘A3―0南小泉B



3部優勝

富沢B2―1遠見塚B



写真左、試合終了後役員・理事のミーティング



(仙台市 渡辺勝利)

仙台市 ミニテニス 協会 メンズ & レディース 大会



いろんな方々とのペアとても楽しかった。



写真上 Cチーム対Dチーム、Cチーム田中貴仁選手のスピンの効いた強烈なサーブ、手に汗する攻防は迫力満点だ。

- 女子の部決勝戦 Eチーム (2-1) Hチーム
- 男子の部決勝戦 Dチーム (3-0) Cチーム

メンズ&レディース大会は平成29年8月20日、仙台市宮城広瀬体育館で開催した。男子・女子毎4ブロックを編成し、優勝目指して熱戦を展開した。試合は予選からヒートアップ、好プレーが続出した。

(仙台市 渡辺 勝利)



写真 準優勝したCチーム安部宣明選手のナイスサーブ



写真 優勝したDチーム佐々木正義選手の破壊力のあるドライブサーブ、

若林区民ふるさとまつり
スポ・レク・フェスタ



写真上 ふれんずチームの大利澄子・彰宏の親子ペア。母はつなぐ、息子は強力なバックハンドの息のあったプレーに観客から温かい拍手が飛んでいた。



何時も協議会の諸事業にご協力いただき感謝・・・
降雨³年ぶりに更新するも

今日はスポーツ日和となりました。プレーに精通し頑張ってください。なお、10月8日の区民まつりにも足を運んで頂ければ幸いです・・・と挨拶があった。

若林区民まつりの一環としてのミニテニス大会は平成29年8月27日、仙台市若林体育館に愛好者48チームが参加され親睦と友情の和を広めた。
主催団体である若林区まちづくり協議会の早坂隆会長写真左は「



若林区まちづくり協議会 堀江新一郎副会長の賞状授与

試合は3部制で7点3ゲームマッチ、部毎2つのブロックに分かれ上位1チームが決勝戦を行う。お祭りの一環である大会、カラフルなボールを打ち合いながら面白いガヤガヤと人同士のつながりが一層深まったようだ。



TNBチーム、島貫真史選手の力強い宣誓

(若林区 渡辺 勝利)



3部 決勝
沖野A 2-1 れもん



2部 決勝
YMS・A 2-1 ミントA



1部 決勝
荒浜A 3-0 荒浜B

仙台市スポーツ振興事業団/主催 平成29年度ミニテニス実技講習会/若林体育館



9月2日(土)仙台市各地からミニテニス愛好者たちが集い、ミニテニス特有の前後左右に変化するスピンやスマッシュ・試合形式など等、基本技術に汗をながした。

「今日はミニテニス実技講習会に参加いただき、また、日頃から当体育館をご利用いただき有り難うございます。今日はしっかりと実技を学び、当講習会が皆様にとって有意義な時間となりますよう・・・」と挨拶があった。

講師は、日本ミニテニス協会公認指導員取得者である仙台市ミニテニス協会の役員・理事が指導にあたった。

丹野克之理事長からは、本日の時程と講習内容の説明。「グリップの



開会式では、主催者の仙台市若林体育館館長一条みち子氏写真左は

午後からは、8コートを使い試合形式を行っ



握り方・フットワーク・フォアハンドストローク・カットスライスポール・サーブス」など等、実際にやってみせる、やらせる、の手法で行った。写真左は、助走からテークバックと体幹を十分に利かした強力なサーブを打つ受講者。

仙台市スポーツ振興事業団のご配慮により第4回実技講習会は成功裏に終了、感謝・(仙台市 渡辺 勝利)



た。受講者たちは午前中に身につけた技術を随所で発揮し、和やかな雰囲気の中にも自分自身のプレーを確かめながら臨んでいたのが進歩と感じた。写真左 試合形式での受講者たち。

祝 仙台市 ミニテニス協会
設立 20 周年記念式典・祝賀会



写真上 仙台市体育協会・仙台市文化観光局・仙台市スポーツ振興事業団はじめ日頃からご指導いただいている関係団体ご来賓のみな様にご臨席いただき盛会に開催できました。



仙台市文化観光局及川徹課長(写真左)は『3、

『貴協会が20周年の節目を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます、今後ミニテニスの普及に努力され将来国体種目を目指すよう・・』とご祝辞を頂いた。



式典では感謝状授与後、仙台市体育協会 齋藤建雄会長(写真左)は

11の震災後、スポーツ人口が減少している。仙台市では「スポーツ元氣プラン」を策定し、「する」「みる」「ささえる」「ひろまる」の4つの柱を掲げスポーツの促進を考えている。大会等を通して市民との交流更なる貴協会の発展を・・・』とご祝辞。



感謝状受賞謝辞、当協会菅原徳夫理事(写真左)

は『平成16年4月仙台市ミニテニス協会に加盟、その後当協会の理事に推挙され現在に至っております。これからもミニテニスの普及推進に努めます・・』と謝辞。式典は無事終了。



写真上 仙台市ミニテニス協会 役員・理事

は『20周年誠におめでとう御座います、自分もミニテニス体験したがボールが軽い分パワーが必要、だから若者にも人気があるのでは、更なる発展を・・』とお祝いの言葉を頂いた。



懇親会では、仙台市スポーツ振興事業団常務理事武田均氏(写真左)



乾杯！仙台市学区民体育振興会
連合会 川島 兵介会長



祝賀会では、武田均常務理事のお祝いの言葉に続いて、川島兵介会長は『仙台市ミニテニス協会の益々の発展を・・・』と乾杯のご発声。皆さんからお祝いのスピーチを沢山いただきました。写真左は、遠見塚チーム佐々木正義さんのマジックショー「シル



熱唱・熱演する ご出席者のみな様

クのマジック・魔法の洋服・ドリームバック」など等のマジックに会場は釘付けとなっていた。写真左 近藤忠美さん 小野寺章さんの演劇



平成29年11月18日
(仙台市 渡辺 勝利)

閉会 鈴木孝一さん



手締 大林一信さん



仙台市ミニテニス協会
平成29年度 秋季大会



11月25日(土)宮城野体育館8:00集合、一斉に会場設営8:30開会式8:50試合開始。当協会は、「相互運営・相互審判」で大会運営選手たちのご協力により、会場設営から閉会式まで水が流れるような運営、みな様に感謝 感謝。



1部優勝
荒浜A3-0七郷A

試合は三部制による団体戦、7ポイント3セットマッチ、各部を2つのブロックに分け上位1位チームが決勝戦を行う。

は「日頃の練習の成果を発揮し良いプレーを・・・」と宣誓



開会式では大和チーム相原博子選手写真左上

試合は予選からヒート



3部優勝
沖野A2-1古城B



2部優勝
国見ヶ丘A3-0TNB・B

(仙台市 渡辺 勝利)



アップ。卓越したスピードに加え広い視野から繰り出すレベルの高い攻防に、応援団からは幾度となく歓声が上がっていた。

冬季大会

平成30年1月20日(土)
仙台市宮城野体育館



平成29年度最後の公式大会、今大会で昇降格が決定するとあって、どのチームも残留または昇格目指し、一ポイントでも一ゲームでも勝ちにつなげる意気込みが漲っていた。

写真上 1部決勝混合戦 JOY・A対連坊B 熱戦を展開する親子ペア対決、ミニテニス特有の前後左右に変化する全ての技を駆使しての多彩な攻防に応援団からは幾度となく歓声が飛んでいた。マッチポイントをむかえたJOY須田悠亮選手のスマッシュがサイドラインをかすめゲームセット。

須田悠亮選手は「全ての技を出し切った。まだまだ若者には負けられない今後成長したい」と汗を拭いた。惜敗した連坊 木村亜貴子選手は「サーブミスが悔やま



3部優勝沖野チーム

2部優勝古城チーム

1部優勝JOY・Aチーム

れる、練習してリベンジしたい」と意気込んだ。

(仙台市 渡辺 勝利)



仙台市ミニテニス協会役員
ユニホーム新調 心新たに



持てる力を発揮しナイスサーブや強力なスマッシュを打ち込む選手たち



元気に選手宣誓の遠見塚チーム

仙台市MT協会説明会



平成30年度に向けての説明会は平成30年2月10日、若林市民センターで開催され、7協会・31団体の代表者たちが参加され、大会開催運営や実施基準など等懇切丁寧に説明、建設的な意見等交わされた。

大会は、4部制 各部年間同一チーム2回対戦を行う「総当たりリーグ戦」となった。4部は現手法で行う等など協会案が後日承認された。



乾杯

新年会も大盛況、白石市協会平間好子会長・山形市協会田中絃子会長の音頭で乾杯、各協会・各団体の近況報告や出し物など等わいわいガヤガヤと友情を深めていた。

(仙台市
渡辺
勝利)



やっぱり日本酒だね!!



各々の持ち歌でステージもヒートアップ!!



仙台市ミニテニス協会 宮城野体育館
 シルバー&レディース大会 H30年2月18日



朝9:00恒例により参加者全員で会場設営、開会式では「女W・混合・男W」の18チーム編成、チーム毎リーダーを決めるなど等作戦を練っていた。

所に好プレーや珍プレーにドンマイドンマイ良いぞ・ガンバレ・・・など等応援も一段とヒ



試合は7ポイント3ゲームマッチ、1チーム5試合を行う特別リーグ戦。チーム毎自己紹介後リーダーを選び作戦会議、コート6面一斉にプレーボール。試合は随

優勝 Qチーム
 準優勝 Kチーム
 第三位 Oチーム



トアップ。この日も熱戦が展開された。

「試合で対戦した方々と次に合った時、笑顔で会えるから」そんなミニテニスの心で、これからも一緒に楽しもう。
 (仙台市 渡辺 勝利)



「勝っても負けても笑顔のハイタッチ」

